

夏だ！ 海だ！ 海水浴だ！
若宮、大田尾の海水浴場で海開き

7月1日、三角町の若宮、大田尾の両海水浴場で海開きがあり、阿曾田清市長のほか同町内の2海水浴場の代表ら約40人が出席。神事を行い、シーズン中の安全を祈願しました。

若宮海水浴場は、戸馳島にある市営施設。隣接のオートキャンプ場と共に、例年約3万人の利用客でにぎわっており、三角支所の永木伸総務課長は「今年も多くの方においでいただきたい」と話しました。

大田尾海水浴場は、国道57号沿いにある海水浴場。夏は隣接の民宿が「海の家」となり、家族連れなどでにぎわっています。大田尾旅館組合の堀川三郎組合長は「宇土市の赤瀬とここ大田尾は海水浴場としては老舗です。土、日をメインにお盆ごろまでにぎわいます」と話していました。



早速波打ち際で遊ぶ子どもたち
(大田尾海水浴場)

海水浴場の代表らが出席して行われた海開きおよび安全祈願祭(若宮海水浴場)

問合せ先

【若宮海水浴場について】

若宮キャンプ場管理棟 ☎52-4587

【大田尾海水浴場について】

大田尾旅館組合 ☎52-2468

家庭教育や地域のこについて討論
青少年の健全育成を目指して懇談会を開催

宇城市青少年育成市民会議松橋地区民会議家庭部会では、6月20日～7月8日までの間、松橋町の12会場でミニ教育懇談会を開催しました。この懇談会は、青少年の健全育成のために、家庭や地域の果たす役割が重要であることを多くの人たちに再認識してもらうことが目的です。

地域のさまざまな役員や、小・中学校のPTA会員、学校の先生などが、「子どもの心に向き合う心」のビデオを視聴した後、家庭教育や地域のこについて熱心に討論。また、宇城警察署生活安全課少年係による青少年を非行から守るための説明もあり、より一層実のある懇談会となりました。



6月27日に南萩尾公民館で行われたミニ教育懇談会の様子

子どもの安全守れ
PTAが下校時にパトロールを開始

6月27日、不知火中学校PTA(河野一郎会長)が、「防犯パトロール出発式」を行いました。

このパトロールは、生徒の下校時の安全を見守ろうと、同PTA「親父の会」(松本雄治会長)が企画。毎月1、2回の割合で部活動が終わるころ、数人ずつ乗用車に分乗しパトロールを行います。

また昨年7月には、「防犯パトロール」と表示したマグネットシートを、旧不知火町と町内小中学校PTAで約800枚作成、保護者に配布しており、おのの自家用車などに貼って、日ごろから防犯啓発を行っています。



頼りにしているからね、お父さん！

市代表を目指して熱戦を展開
市体協が県体予選会を開催

このほど、県民体育祭の宇城市予選会が開かれ、各競技で熱戦が繰り広げられました。宇城市体育協会主催。

7月10日に不知火体育館で行われた開会式には、選手・監督ら150人余りが参加しました。篠崎鐵男体育協会会長が「今後ともスポーツ振興のため、関係機関と連携を図っていききたい。選手の皆さん、日ごろの鍛錬の成果を十分に発揮してください」とあいさつ。阿曾田清市長が「県民体育祭で素晴らしい成績を上げられるよう、また、新しくスタートした宇城市体育協会が新たな伝統を築くことをお祈りします」と祝辞を述べました。

予選会は6月5日、7月10日、12日、13日、17日、18日の6日間で行われ、21種目28競技に1,000人を超す選手・監督が出場。宇城市代表を目指して、レベルの高い好ゲームが展開されました。

代表となった選手・監督は、9月17日・18日、人吉市・球磨郡をメイン会場に開催される県民体育祭に出場します。皆さん、選手たちへの熱い声援をお願いします。



開会式であいさつをする
篠崎鐵男体育協会会長



卓球女子



バスケットボール男子

校長自ら救急法を指導
高校生が心肺蘇生法を実習

6月21日・22日の両日、小川工業高校(宮本徳弘校長)で救急法講習会があり、2年生全員と各クラスの保健委員、運動部顧問教師など約250人が受講しました。

講習会では、宮本校長自ら講義しその後、日赤救急奉仕団(深川芳枝団長)6人のボランティア指導員が心肺蘇生法などを実技指導。生徒たちは、「思っていたより難しかった」「こういう事は、起こらないがいいけど、知っていた方がいい」などと感想を語っていました。

宮本校長自身も、日赤救急奉仕団の団員でボランティア指導員。事故が起こりやすい、今の時期に毎年開催しているそうです。



ダミー人形を使って心肺蘇生法を実習

一度見に来てね！
手作りプランター作ったよ

7月3日、自然塾「山学校」(渡辺裕生塾長)とATS不知火町活性化委員会(對田正一会長)のメンバー30人は、手作りのプランターを作り、花を植えました。

これは、同塾が授業の一環で行ったものです。モウソウチクで作ったプランターに、ペゴニアやポチュラカ、ニチニチソウの3種類300株を植えました。

同塾は、毎週日曜日、子どもたちを自然の中で遊ばせながら集団生活のルールや“生きる力”を身に付けさせようと、三角町大口の観音岬を活動の拠点とし活動しています。



手作りプランターは不知火文化プラザ前広場に設置。花の植え付け作業を行う子どもたち